

第101号



題字の揮毫
弥富市長
安藤正明氏に
よるものです。

輪中の郷 おたっしや通信

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0039
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567)65-5531
FAX (0567)65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com

今年度の取り組み

施設長 伊藤 敏弘

◇ 始めに

日頃は、社会福祉法人「弥富福祉会」の事業運営にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。施設運営は引き続き厳しい状況が続きますが、より一層地域社会に貢献できるよう取り組みでまいります。また、各事業の効率化を図りながら、常に長期的視野にたち、よりよいサービスを展開し、地域の皆様に愛され信頼される施設となるよう努めてまいります。理事会・評議員会で承認された今年度の主な取り組みは次のとおりです。

※ 重点取組施策

- 一、幅広く多様で複合的な福祉ニーズに対応し、地域の皆様と共に、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進します。
- 二、利用者一人ひとりの願いや生きがいに沿った自立生活を支援し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。

三、介護が現実的な選択肢として「なりたい・就かせたい職業」へのステップアップを目指し、魅力・やりがいを地域に発信します。

◇ 法人本部

働き方改革の推進等、国の政策への対応がせまられるなか、新規事業の開設が予定されており、持続可能な事業の発展を支えるため、人材確保に引き続き注力し、職員が働きやすい環境の整備を継続してまいります。

また、キャッシュ・フロー経営を推進し、法人理念の達成を目指すとともに、今後の新たな法人組織の在り方を検討していきます。

◇ 特養ホーム

「寄り添って暮らそう」をモットーに、一人ひとりが願う自立を叶えるべくサービスの提供に努めます。

職員の負担軽減に資するロボット介護機器等の導入等、働きやすい介護現場の実現に努めます。

◇ 通所介護

「笑い合い・見つめ合い・楽しみ合い・助け合い、意義ある

日々を共に」をモットーに、サービスの提供に努めます。
また、早朝や時間延長など利用者ニーズを把握し、柔軟に対応します。

◇ 居宅介護支援

24時間連絡体制かつ利用者等の相談に対応する体制を確保し、困難事例の受入れ並びに認知症初期支援に対応できる体制を整えます。また、働きやすく魅力ある事業所になるべく、資質向上及び2人担当制等の整備をしてまいります。

◇ その他

専門職による総合事業の地域展開促進並びに地域の独居高齢者、子育て世帯及び経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供し、地域社会に貢献します。

◇ 終わりに

当法人は、弥富市民の総意で設立された経緯を念頭に市民福祉最優先を忘れず、地域の社会福祉法人としてお役にたてるよう努めてまいりますので、今後も温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介いたします。



飯塚福子さん
11月28日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。

職員からの声かけに、いつもこちらに大きな瞳を向けて応えて下さいます。

歌を聴くことが好きで、CDデッキから流れてくる音楽に耳を傾けて過ごされています。うたおう会やカラオケくらぶなどの行事がある時は、ホールで他の住人さんと交流もしておられます。

これからも大好きな歌を聴いて、元気にお過ごしください。
(佐藤大樹)



岡野愛子さん
12月14日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。

歌をうたうことも好きなようで、童謡を口ずさむことがしばしば見受けられます。おしゃべりすると美味いものを食べるのが、大好きとのことなので、これからもいろいろなお話を皆に聞かせてあげてください。

これから暖かくなっていきます。大好きなご飯を一杯食べて、いつまでも元気にお過ごしください。
末永くよろしくお願ひ致します。
(水谷薫)



山田あや子さん
1月6日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。ご自分から声を発することは少ないですが、職員からの声かけには顔を向けてくださいます。

レクリエーションへの参加は積極的で、普段と違う表情や様子が見られます。他にも職員がエプロンたたみや折り紙を行っていると、「私もやろうかな」と一緒にしてくださいます。これからも健康には気をつけて、元気にお過ごし頂きたいと思ひます。
末永くよろしくお願ひ致します。
(奥村和久)

ホーム入所選考結果

1月31日(金)に、第53回入所選考を行い、要介護3以上の方について次表のとおり待機者名簿に登載し、入所順をご家族に通知しました。

計	木曾岬町	飛鳥村	あま市	弥富市	愛西市	津島市	
30	1	1	0	27	0	1	男
54	1	0	1	51	1	0	女
84	2	1	1	78	1	1	計



新入職員紹介



井上 賢史

3月より勤務させていただいています。今初めて特別養護老人ホームでの勤務ということ、不慣れな面が多々あり、ご迷惑をお掛けすることがあると思います。趣味は釣り、バイクです。最近あまり乗っていないですが、暖かくなってきたので、そろそろ動かそうと思っています。

まずは一日でも早く仕事を覚えて、職員の一人として認めてもらえるよう頑張りたいと思います。
(輪中の郷介護福祉士)



久米 久美子

4月より看護師として勤務させていただいております。総合病院を退職後しばらく育児に専念し、前職は非常勤で訪問看護ステーションに7年間勤務していました。

訪問看護ではデイサービスと連携をとることが多くありました。利用者さんはご自宅で生活されているので、病院のように24時間状態を観察することは出来ず、直接的に得られる情報は限られています。その中で必要なケアを考え実施していくには、家族はもちろんのこと、他事業所との連携も重要であることを学びました。

また、一人の利用者さんに他職種のスタッフが関わっており、多方面から支援することにより、個別ニーズに沿った関わりができることも在宅ならではの感じました。

今までの経験を活かしながら、利用者さんの自立生活支援ができるよう精一杯努めていきたいと思ひます。

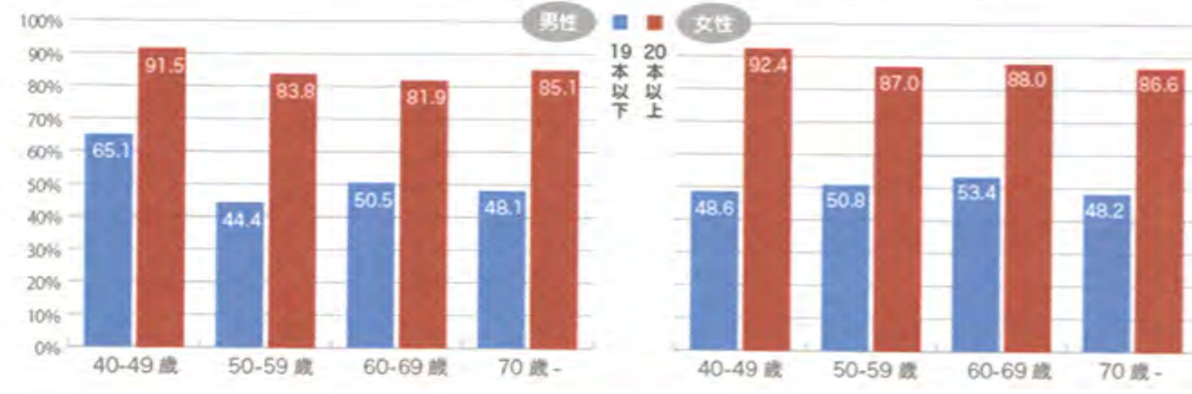
よろしくお願ひ致します。
(弥富市デイサービスセンター看護師)

元気は宝物 健康コラム

「歯の健康」

おいしく食べて、健康で長生きをするために欠くことのできない「歯」8020(ハチマルニイマル)運動とは、「八十歳になっても自分の歯を二十本以上保とう」という運動です。厚生労働省と日本歯科医師会の呼びかけで、平成元年から進められています。食べること、命を支える大切なこと。からだの健康を保ち、おいしく食べるには「歯」は欠くことのできないものです。しっかり噛むことで唾液の分泌も促され、胃や腸での消化・吸収もよくなります。二十本以上の歯があれば、ほとんどの食べ物を噛み砕くことができ、味を楽しみながら食べることが出来ます。いつまでも自身の歯を残すことは、健康寿命を延ばすことにもつながります。

▼歯の本数別にみた、「なんでもかんで食べることができる」人の割合 (厚生労働省より)



SMILEレシピ

チンゲン菜の味噌そぼろ丼

今回はチンゲン菜を使った料理をご紹介します。材料の一覧にはありませんが、しいたけや人参、辛い味が得意な方は豆板醤など、いろいろな具材を入れてアレンジができるレシピとなっています。よかったら、いろいろな食材を使って作っててくださいね。



調理員
伊藤佑莉



材料2人分

- ご飯.....どんぶり2杯(400g)
- 鶏ひき肉.....150g
- チンゲン菜.....1/2袋(100g)
- おろし生姜.....小さじ1
- サラダ油.....大さじ1
- 塩コショウ.....少々
- 合わせ調味料
- 酒.....大さじ1
- みりん.....大さじ1
- 砂糖.....大さじ1/2
- 味噌.....大さじ1と1/2

作り方

- ①チンゲン菜は根元を切り落とし粗めに切ります。
- ②ボウルに合わせ調味料を入れて混ぜ合わせます。
- ③フライパンに油をひき、鶏ひき肉・おろし生姜・塩コショウを入れて、肉の色が変わるまで中火で炒めます。
- ④肉の色が変わったらチンゲン菜を入れ、しんなりしたら合わせ調味料を入れ炒めます。
- ⑤器にご飯を盛り、炒めたおかずを乗せ完成です。

永年勤続職員表彰

令和2年1月1日現在で、20年及び10年以上勤務の次の職員に対し、社会福祉法人弥富福祉会永年勤続職員表彰に基づき、理事長から表彰状と記念品が贈呈され、これからも精進し法人事業の進展に寄与していただきたいとの言葉がありました。

◇20年表彰

- ・デイサービスセンター輪中の郷 介護福祉士 寺本七々子
(平成11年4月1日付非常勤採用)
- ・特別養護老人ホーム輪中の郷 介護士 寺岡啓子
(平成11年5月26日付非常勤採用)
- ・特別養護老人ホーム輪中の郷 介助員 平野千代子
(平成11年9月22日付非常勤採用)

◇10年表彰

- ・弥富市南デイサービスセンター 介護福祉士 若山裕子
(平成21年4月1日付採用)
- ・特別養護老人ホーム輪中の郷 調理員 立花玲子
(平成21年4月1日付非常勤採用)
- ・特別養護老人ホーム輪中の郷 介護士 田中由美子
(平成21年9月1日付非常勤採用)



▲ 右から 寺本七々子、平野千代子、田中由美子



▲ 寺岡啓子



▲ 若山裕子



▲ 立花玲子



「鶏ひき肉」
スーパーで「鶏ミンチ」としてみかける「鶏ひき肉」は、味が淡泊でやわらかく消化吸収の良いお肉です。お腹を温め消化の良い鶏ひき肉は、病後の体力回復の滋養食としてお勧めしたい食材です。栄養素としては、良質なたんぱく質を含んでおり、ヒトの体内で充分な量が合成できず、栄養分として摂取しなければならぬアミノ酸である「必須アミノ酸」を豚や牛より豊富に含んでいます。脂質は豚や牛のおおよそ半分ほどので、ヘルシーなお肉といわれます。また、ビタミン類も含まれており、皮膚や粘膜を強くするビタミンAは豚や牛より多く、代謝に必要なナイアシンも含んでいます。今月のSMILEレシピは、鶏ひき肉を使ったレシピとなっています。家で過ごすことが多くなった今日この頃、家族の皆さんで作ってみてはいかがでしょう。(星野芳江)

台所の薬草

「鶏ひき肉」

ご挨拶に来所された際、息子様に午後からのお誕生会の予定をお話し、宜しければと言いつつ、積極的にお誕生会への参加を勧めた所、少し困惑?されておりましたが、快く引き受けて下さいました。お誕生会にと練習に練習を重ねた職員による出し物は、苦勞の甲斐あってご本人様と息子様に、そして皆様に大変喜んでいただくものとなりました。写真撮影ではお二人を

早朝より

この日は90歳を迎えられる山田ふじ様のお誕生日。そして同じ館内の総合福祉センターに勤務する息子様の異動前の最終勤務日でした。 囲んだ集合写真、また何年ぶりのツィショットでは、見ている私達までもが幸せな気分となりました。 終了間際に息子様がそつと上着の内ポケットから出された物は、2枚の若く元気な主婦の写真でした。息子様はいつの時もお母様の写真を身に付けたいを寄せていたのですね。大好きなお母様との良き思い出、そして良い写真がまた一つできました。内ポケットの写真の枚数が増えるかしらね...

(上野江美子)



弥富市デイサービスセンター

『お誕生日の良きロウ』

12月15日(日)、市民ロードレース大会の駅伝男女混成の部に出場しました。子宝グラウンドを出発し、三又池を半周し、子宝グラウンドに戻ってくる全長2.5kmを4人で一周するコースです。1区は上位で2区にタスキを繋ぐも、3区に繋ぐときには最下位となり、4区では周回遅れの最下位でゴールするという結果に...走る前には、「最下位だけは避けよう」とメンバーと話をするも、ダントツの最下位に、少しでも走り込んでおけばよかったと、「後悔先に立たず」です。来年も走る機会があれば、「脱最下位」を目標に、少しずつ走り込みをしていこうと思います。

(小木曾翔一)



第14回弥富市ロードレース大会に参加しました

デイサービスセンター輪中の郷

『花見ドライブ』

今年、新型コロナウイルスが猛威をふるい、なかなか外出する機会がない日が続いています。送迎時やデイルームから見える桜を見て、「もうじき満開だね」という皆様の声を聴くと、職員一同満開の桜を見ても良かったという気持ちになりました。

天気予報では、4月2日より天気は良いとのこと、「花見行けると良いな」という思いが叶い、2日から4日は晴天に恵まれ、花見ドライブへ出かけることができました。久しぶりの外出で、皆様とても良い笑顔で職員一同嬉しいです。新型コロナウイルス

ロノウイルスの終息はまだまだですが、今後も喜んで頂ける企画を考えていきたいと思えます。来年は、桜吹雪を浴びながら写真撮影ができると思いますね。

(安田洋子)



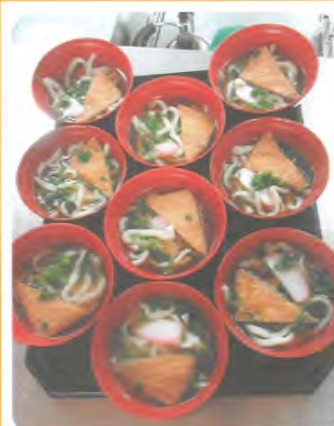
弥富市南デイサービスセンター

『うどん作り』

3月17日(火)に初めての試みとなるうどん作りを行いました。午前中から生地を作り寝かせ、昼からビニール袋に入れたうどん生地を、利用者さんに踏んで頂きました。平行棒に掴まり、「ヨイショ、ヨイショ」と、始めは固かった生地も徐々に柔らかくなり、その生地を丸め、伸ばし、包丁で切った麺に仕上げていきました。

自分たちで作った出来たての「きつねうどん」が完成です。皆さん口々に、「旨いな」「こりやええなあ」「おいしい、おいしい」と沢山の笑顔と新しい経験を楽しむことが出来ました。

(瀧之上香純)



新型コロナウイルス感染症への対策

輪中の郷では、2月23日より面会制限等の感染症対策を実施しておりますが、全国で緊急事態宣言が発出されるなど、より深刻な事態となっております。4月時点で左記のような対策をしておりますので、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

入館制限

入居者様、利用者様への面会制限をしております。基本的には面会をご遠慮いただいておりますが、やむを得ない場合の面会は玄関口で体温測定、手指消毒、マスクの着用、指定の用紙に氏名等の記入をお願いしております。各種業者様も同様の対応をしております。

職員管理

出勤する職員は玄関口で体温、体調、呼吸器症状の有無を記載するようにして毎日の出勤前に体調確認を行い、マスクの着用を徹底しております。また、普段からの自己管理や不要不急の外出を自粛するように通達し、感染対策の意識啓発に努めています。

施設内の行事の縮小・中止

施設内の各会議は縮小・中止・書面開催などの対応をとっています。行事も全体で行うものは中止し、各階で行うものは換気や人と人との距離に留意して行っています。

在宅サービスの利用時の体調管理

お迎え時に体温測定を行い、発熱がある場合や、風邪症状が見受けられる場合は利用をお断りしております。また、利用中の発熱等に関しては、速やかに利用中止とさせていただきます。居宅介護支援事業所は、できる限りお電話での状況確認や対応をさせていただきます。

ご寄付 ありがとうございます
ございました

12月1日～3月31日

- 木下たづ様
- 山本恵美様
- 奈良明美様
- 渡辺重明様

亡くなられた方々

- 今泉はつゑさん 八十五歳
- 令和元年十二月二十日
- 津坂敏春さん 九十五歳
- 令和二年一月十五日
- 山本つや子さん 九十一歳
- 令和二年三月十三日

皆さんのご冥福を
お祈りいたします。

編集後記

朝起きて肌を刺すような冷たい空気が、気づけばやさしく頬を撫で通る風へと変わり、街の緑も鮮やかさを増していく中、当施設の新しい一年がスタートしております。

す。
昨年度入職した職員も、当初は表情も硬く本来の笑顔も出せない日々が続いていましたが、今は住人さんやご利用者の皆さんとの信頼を築き上げ、お互いに談笑する姿も見受けられております。人と人とのつながりは出会いから始まります。出会った時にお互いが受ける「第一印象」は、今後の人間関係の構築にも大きな影響を与え、といても過言ではありませぬ。「人の第一印象は出会って数秒で決まる」というメラビアンの法則があります。それには初対面の方がどの要素で判断しているかを調べた結果、視覚が55%、聴覚が38%、言語が7%となっております。あくまでこの結果はデータに過ぎませんが、社会人としては仕事を上する上で、まずは身だしなみや表情といった視覚から伝わる情報に気をつけたいものです。これからは当施設で暮らしている住人さんや利用して頂いている皆様にも、不快な想いを与えず職員全員が満面の笑みでより良いサービスを提供していきたいと思っております。

そして、新たな取り組みも始まる当法人として、今年度も地域の皆様を選ばれる施設づくりに励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(村瀬 皇)